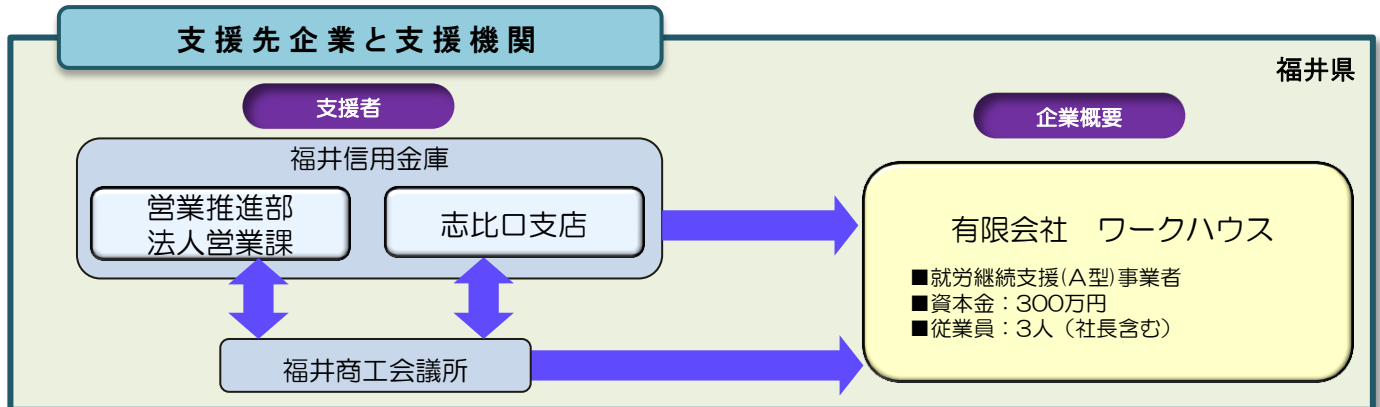


# 創業支援 ③

## 障害者の社会復帰を目指した就労継続支援(A型)事業所の開設及び運営支援



### 支援概要

#### ◆企業概要と支援の経緯

通常の事務所で働くことが困難な知的障害者、精神障害者、身体障害者に、雇用契約に基づき就労や生産活動の機会を提供する就労継続支援(A型)施設の開設を考えた嶋田忠治氏は、当初福井商工会議所の経営相談窓口を訪れた。開業準備と公的融資の申請についてアドバイスを受け、早速創業計画書を作成して提出したが、公的金融機関の融資条件を満たすことはできなかった。嶋田社長は、施設開設準備を並行して進めていた関係で、創業当初より資金繰りに困窮する事態となった。商工会議所担当者は、福井信用金庫法人営業課に創業融資の打診を行い嶋田社長を紹介した。相談を受けた同法人営業課では、志比口支店に所属し、就労継続支援(B型)施設の開設に際し2件の審査実績を有している三好孝憲氏を交え、平成25年2月創業計画の見直しに着手した。

法人営業課と志比口支店の連携で、事業計画の聴き取りや創業計画書の精緻化はトントン拍子に進み、2か月後には創業融資が実行された。

その後事業は軌道に乗り、順調な業績で推移している。嶋田社長は自身の創業計画のあまさを自覚し、支援機関・金融機関のありがたさを実感している。

#### ◆経営課題へのアプローチ・支援手法

- ①緊密関係にある福井商工会議所からの紹介案件でもあり、福井商工会議所との情報交換や連携を取りながら支援を実施
- ②就労継続支援(A型)事業の綿密な環境分析、事業特性の把握を通し、より実効性の高い創業計画の作成を支援
- ③就労継続支援事業に対する事業助成金の支給を見込んだキャッシュフローのシミュレーションを行い、詳細な資金繰り計画の作成を支援

#### ◆支援成果

福井信用金庫による創業融資が実行され、作成した事業計画及び資金繰り計画に基づいた堅実な事業運営が実行されていること

### 支援プロセス

他の就労継続支援(B型)施設に勤務していた嶋田氏は、(A型)施設の開設を志し、同施設を退職し開設準備を整えた時に、公的金融機関から融資は困難との通知を受けた。困惑する嶋田氏に、懇切丁寧に支援し、アドバイスを行ったのが福井信用金庫志比口支店の三好氏であった。

創業融資に関わるやり取りの中で、(A型)事業施設を開設し社会福祉事業に貢献したいという嶋田氏の強い意気込みを感じた三好氏は、就労支援(A型)事業の概要、特定求職者雇用開発助成金の仕組みを学び、事業計画、資金計画の策定を創業者と二人三脚で行った。通所者の確保～作業の管理～賃金の支払い～助成金の申請～助成金の受領という経営管理業務を嶋田氏と一緒に確認し計画に落とし込んだ。

創業融資は2か月後に実行されているが、その間、嶋田氏の経営に対する考え方・姿勢に大きな変化が見られた。三好氏の懇切丁寧な支援により、経営管理を実務で学習した。現在では顧問税理士と毎月資金計画をレビューし、事業計画の前倒しの実行策等を検討している。



施設での作業状況



嶋田社長(左)と三好氏(右)

フォローアップ・連携支援

◆フォローアップ

福井信用金庫では、営業店渉外担当者が創業融資先に定期的に訪問して、事業計画の進捗状況の確認、事業課題の把握、課題解決への提案（補助金の活用、ビジネスマッチング）等を実施している。本件も、志比口支店三好氏が、同様のフォローアップを実施しているが、現時点当初計画通りに事業は進展している。県内には就労継続支援(A型)施設は少なく、経営者は次の事業拡大構想を描きたいとの思いがある。障害者の自立支援の貢献をライフワークとする経営者に対して、ワンストップの併走支援を継続することになる。

◆連携支援

福井信用金庫は、福井商工会議所と日頃から緊密な情報交換や連携した支援を実践しており、福井商工会議所が運営する開業サポートセンターの構成員として、地域の税理士・開業経験者と共に、積極的に創業支援を実施している。今回の創業支援も、ベースとなるビジネスプランの作成は福井商工会議所が支援を行い、初期の課題整理や福井信用金庫への紹介など親切な対応を行っている。福井信用金庫の迅速な資金繰り対応も、商工会議所による的確な前裁きが実施されたことが背景にある。

注目ポイント

- ① 当初、公的金融機関の融資条件を満たせず困惑していた際に、約2か月で創業融資を実行でき、創業者の事業運営に大きく貢献できた。
- ② 志比口支店三好氏が、就労継続支援(B型)事業の審査経験を有し、創業者の【想い】を理解できた。法人営業課の就労継続支援(A型)事業のアドバイスも
- あり、事業計画の精緻化が、短期間で実施できた。
- ③ 福井商工会議所との日常的な連携、信頼関係を背景に、事業性の高い有望な創業案件の紹介を得て、融資の実行と継続支援を実施している。

支援機関としての取組み(体制等)

福井信用金庫は平成18年に、営業推進部内に法人営業課を設置し、創業支援を中心とした事業性融資開拓を強化した。自己資金要件がなく、第三者保証不要、担保不要とする創業融資を実行するため、事業性が見極めと実現性の高い事業計画を作成する能力が、大きく問われる取り組みであった。

現在は、専任職員9名を配し、右図に示すスキームで、営業店と法人営業課の緊密な情報交換と公的支援機関との連携を進め、創業支援の一層の強化に取り組んでいる。

- ① 営業店が創業者から相談申込みを受ける。
- ② 営業店は法人営業課に初期相談する。
- ③ 法人営業課は、営業店に負担の大きい市場調査などを行い、営業店と協働して創業者の事業計画作成をサポートする。
- ④ 法人営業課がより専門的な支援が必要であると判断した場合は、福井商工会議所などの公的支援機関に支援を要請する。
- ⑤ 法人営業課と営業店は、事業計画の最終検証を行い、事業計画が妥当と判断された場合は融資部に審議申請して、融資を実行する。
- ⑥ 営業店は融資実行後、事業の進捗状況を管理してフォローアップを行う。

以上

ふくしん新事業(創業)支援資金のスキーム

